加藤常作　山口徳五郎
永澤鮮藻　長島力藻
金成綱三郎　大槻田長吉

征討ノ際ニ盡力其功不少依テ下賜候事

府縣廳管國東成郡大王寺村
竹谷松太郎
二十八年

爲ニ對シ大坂輕罪裁判所ニ於テ監視ニ付ノト言渡シタル賀忠良士族ノ愛婿竹谷松太郎ハ明治十四年第八十一號布告ノ趣意ニ違ヒ原裁判所ハ其ニ擬律ノ錯誤ニ係ル旨陸軍ニ於テ依テ之ヲ審査ノ結果ニ原裁判所ハ其ニ擬律ノ錯誤ニ係ル旨陸軍ニ於テ依テ之ヲ審査ノ結果ニ原裁判所カ軍禁錮四十六條ノ刑ニ一等ヲ減シレハ誤

格スルヿ無ク又清國ナルヲ此若ラ貴トシテ朝鮮國政ニ干預スルヿ無ラシメハ此老ノ渡京行ハ日支韓三國ノ交際ヲ保持スルノ一要事ナリ

雜報

○[illegible] 聊上ふの通日々酷暑をも厭はせられず御軍事件等に付[illegible]外に暫く内閣へ出御在らせられしが本月九日午後十時六分火金曜日のみ出御遊ばさるゝ御内諭ありし旨に承はる

○淀屋橋物語 皇子明宮淀屋橋物として月毛の木馬一頭を先頃京都淀屋橋工業へ調製を仰付られしが去二日出來ふ付既に宮内省へ調進せしゆえ直ちに同宮へ調せられし成熟の外淀屋橋の叶はふよし又該品は本製なれば其効功ある絶妙にして行幸遊却意の如く日馬名を白雪と名付られ是ふ又昨日は皇后宮より農女[illegible]へ淀屋橋物種々女官に命ぜられ[illegible]

らせられたり

○中山從一位 同官には一昨日午前十時皇山御所ゑ参内され明宮御方の御機嫌を伺はれしが御序を以て皇后宮ふも拜謁を許されるよし

○夏伏見宮 同宮には昨日午後横濱出帆の三菱汽船芳野丸ふ乘組され四日市港に赴られ又同宮は明五日午後四時の名護屋丸にて神戸へ赴かるゝ由

○故樂本宮 去一日は同宮一周年祭ゑ當られ給ふふ

[illegible]東京に於ても祭典執行ありしが京都府下泉涌寺の御陵ふても同様執行せられ當日祭主には冷泉爲[illegible]忠宮勅使として宮内省御用掛宇田淵君が參向ふあり[illegible]

[illegible]参拜の方々ふは山階宮及び久邇宮御名代本願寺大谷[illegible]

○マルクリー氏 最に我が陸軍教師普長カ[illegible]國陸軍大佐マルクリー氏は病氣ふて先年解雇せられ當時本國に歸り巴里近在の一幽地ふ退隱して專ら療養中ありしが既頃有栖川宮熾仁親王御滯在ありしよし聞き同氏に[illegible]使を遣せて同宮の一行を幽居に招じ[illegible]

[illegible]

○[illegible]御[illegible]

[illegible]

○馬關備信副電報 在馬關本社特別通信員より昨日左の電報到達せり

馬關九月三日午後七時發

孟夏[illegible]今朝着港したれども仁川行ハ見合せふあり[illegible]博多の旅館ハ引上げの用意に掛る○[illegible]

[illegible]は唯今神戸へ向け出帆したり

○神戸通信員電報 在神戸通信員より昨日左の電報到達せり

九月四日正午發

中山議官補伊藤中尉ハ淀船一丸号ふて今朝五時馬關より到着直ふ東海丸ふて上京

○馬關通信員郵報 在馬關本社特別通信員より昨日左の郵信到達せり

馬關八月廿八日發郵書

[illegible]今仁川ふ[illegible]船[illegible]ふ一日千秋の思なり○昨日午後五時出港仁川へ行きたる社寮丸ふは本願寺の奥村圓心韓人朴齊純、柳赫魯、湯燒外商人六名[illegible]十六名水夫廿一名人夫二百三名各新聞社よりの通信者三名傳の乘組ふて積荷は米五百石通ひ船三艘等ふ[illegible]の外務省御用船千歳丸は昨日午後四時出帆釜山を[illegible]ふ[illegible]

[illegible]

[illegible]